



国内外のワークプレイスと ビジネスジャパニーズ

海外技術者研修協会AOTS日本語教育センター
はるはら けんいちろう

「アジア人財資金構想事業」総括

1. 経緯と出来事

- 2006年 「社会人基礎力」定義
ビジネス日本語事前調査(AOTSのHP)
- 2007年 アジア人財開始 参加大学170校, 留学生2,000人
- 2010年 ビジネス日本語研究会発足 「BJT」中止騒動
- 2011年 3.11東日本大震災⇒サプライチェーンの崩壊
⇒中小企業の海外移転本格化
6.26グローバル30失敗by政治家
関東圏留学生4割減
- 2012年 ODA途上国支援・研修生留学生受入れ⇒
日本人(社会人+学生)の国際化



2. 背景

1) 大学の生存戦略

2) 企業の生存戦略

3) 国家の生存戦略



1) 大学の生存戦略

- ・大学の企業化
- ・学生＝お金を払いサービスを買う人【消費者】
- ・全入化・大衆化 例 大学進学率 韓国89%
- ・大学間格差の拡大 例 大学院⇔基礎教育
小4で止まった学力(10歳の分水嶺)
- ・高学歴化⇒就職難と過剰な就活文化
- ・cf. 前門の虎⇒「少子高齢化」, 後門の狼⇒
「グローバル化」 by 上野千鶴子



2) 企業の生存戦略

- ・ 企業の大学化
- ・ 社員＝労働力を売りお金をもらう人
- ・ 学習の長期化・生涯化・脱OJT化
- ・ 脱国民国家化/グローバル化
- ・ cf. サンヨー電機2011年7月29日中国ハイアール（海爾集团公司）へ売却



3) 国家の生存戦略

◆国家の企業化



◆ODA大綱の変容

- ・ 発展途上国の離陸
- ・ 大企業のグローバル化，脱国民国家化

◆産学官民軍連携合唱の嵐

- ・ 建前...高度専門人材の受入れ
- ・ 現実...超高齢化による再生産人材と不自由移動者の増加



◆自主・独立・自由⇔合併・下請け・消費



3. ライフコースの変化と 人材育成

単線/リニア型ライフコース



螺旋/スパイラル型ライフコースへ

1) リニア型ライフコース

学生
6歳～22歳

社会人
23歳～65歳

年金生活者
66歳～80歳

16年 ⇒

42年

⇒ 14年

(人材育成を大学に期待しない)

学歴・学力

年功序列
終身雇用

年金生活
悠々自適？

<家族型>

※家族・学校・企業・地域・国家⇒セーフティ・ネット

2) スパイラル型ライフコース —柔軟雇用型 by経団連—

※終わりになき学習と就活

例 高学歴ワーキングプア

インターンシップ

ワーキングホリデー

人材型

キャリアデザイン

社会人大学院

キャリアディベロップメント

地域活動

※家族・学校・企業・地域・国家からの自由/疎外



4. アジア人財の成果

- ・ 「人材」「キャリア」の主題化
- ・ 人材育成 HRDという発想＞人間形成
- ・ アーティキュレーションの顕在化
⇒ 「移動」する力 -空間上＋時間上-
- ・ 求められる＜能力＞の明確化
⇒ 「社会人基礎力」
- ・ 能力評価ツール ⇒ オンデマンド型「BJT」
- ・ 活動方法論 ⇒ 「PBL」



成 果 物

- 日本での就職を目指す外国人留学生のための
ビジネス日本語教材の教材シリーズ&パンフレット
⇒AOTSのHP <http://www.aots.or.jp/jp/jltc/kyozai.html>より
無料ダウンロード可能

- 日本での就職を目指す外国人留学生のためビジネス日本語ガイド
ブック
⇒アジア人財プロジェクトサポートセンターのHPより
無料ダウンロード可能(近日中)

- 『留学生のための就職活動ハンドブック』
⇒アジア人財プロジェクトサポートセンターのHPより
無料ダウンロード可能(近日中)

5. 「アジア人財資金構想」の 今後の展望

- ・ポスト「社会人基礎力」
ナショナルスタンダード
⇒グローバルスタンダードへ
- ・ポスト「BJT」
ビジネス
⇒より幅広い仕事現場の能力評価へ
- ・ポスト「PBL」
⇒教育現場と就労現場の連携へ

「社会人基礎力」とは

▶ 平成18年2月、経済産業省では産学の有識者による委員会(座長:諏訪康雄法政大学大学院教授)にて「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」を下記3つの能力(12の能力要素)から成る「社会人基礎力」として定義づけ。

< 3つの能力 / 12の能力要素 >

前に踏み出す力 (アクション)

～一步前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力～



- 主体性**
物事に進んで取り組む力
- 働きかけ力**
他人に働きかけ巻き込む力
- 実行力**
目的を設定し確実に行動する力

考え抜く力 (シンキング)

～疑問を持ち、考え抜く力～



- 課題発見力**
現状を分析し目的や課題を明らかにする力
- 計画力**
課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力
- 創造力**
新しい価値を生み出す力

チームで働く力 (チームワーク)

～多様な人々とともに、目標に向けて協力する力～



- 発信力**
自分の意見をわかりやすく伝える力
- 傾聴力**
相手の意見を丁寧に聴く力
- 柔軟性**
意見の違いや立場の違いを理解する力
- 状況把握力**
自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力
- 規律性**
社会のルールや人との約束を守る力
- ストレスコントロール力**
ストレスの発生源に対応する力



ポスト「社会人基礎力」

グローバルスタンダードな 「社会人基礎力」試案

- ・ 移動・越境する能力（代替不可能性・ハイブリッド・ダイバーシティ・シナジー）
- ・ 変化を創りだす能力（>適応力>同化力）・環境を変える能力（企画力）
- ・ 学びの主体となり社会の主権者となる能力



ポスト「BJT」 & 「PBL」

AJとBJの相互乗り入れ

アカデミック・ワーカー

=働きつつ,

学びのコミュニティを創りだす能力

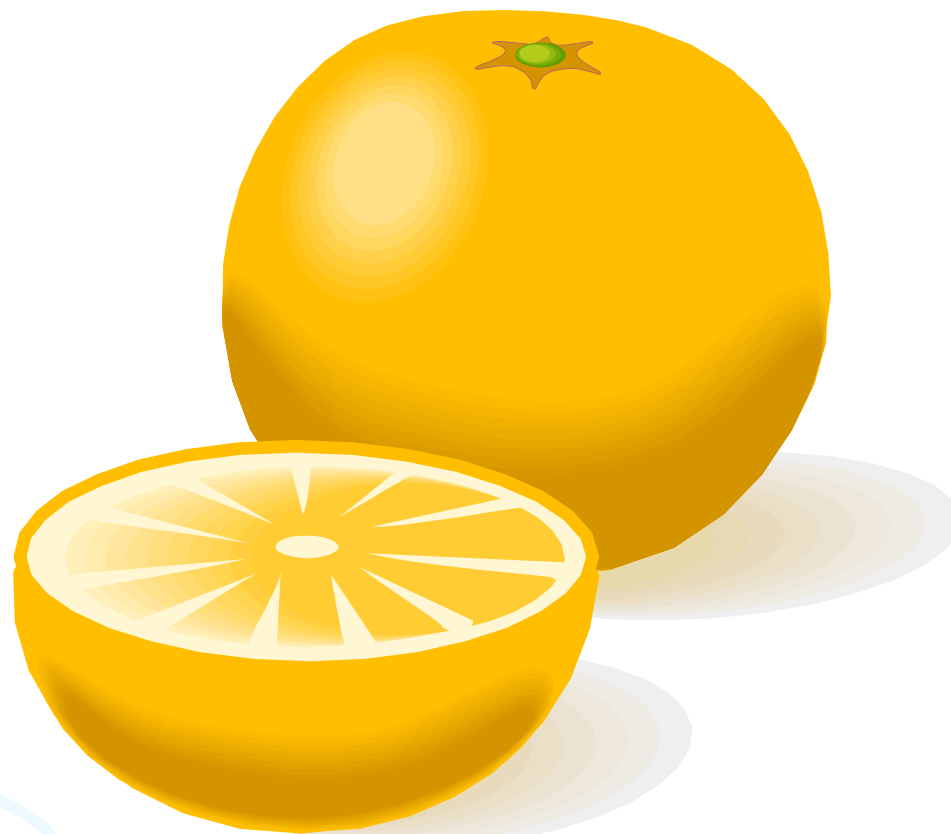
+

ワーキング・ラーナー

=社会とつながり実践しつつ,

学びを組織する能力

大学⇔地域<life>+世界<多様性>⇔企業



ミカン_(未完)ですが ありがとうございました !